

事業番号	事業名	内容	対象外 項目番号
1	保健衛生総務運営事業	課内庶務等(在宅医療推進事業)	-
	母子保健事業		
2	乳幼児健康診査事業	乳幼児に関する各種(医科・歯科)健康診査	①
3	育児教室・相談事業	新生児・乳幼児の訪問指導、個別相談	-
4	救急医療事業	初期救急・二次救急医療、ドクターヘリ	①
5	医師会・歯科医師会連絡調整事業	医師会・歯科医師会連絡調整	-
6	こころといのちのサポート事業	自殺対策、こころの健康	-
	妊娠出産前支援事業		
7	出産前支援事業	安産教室、マタニティスクール等	-
8	妊婦健康診査事業	妊婦に関する各種(医科・歯科)健康診査	⑤
9	妊娠支援事業	特定不妊治療費・不育治療費の一部助成	-
10	食育推進事業	食育推進全般	-
11	予防接種事業	定期・任意予防接種	①
	健康増進事業		
12	成人健診・運動事業	成人歯科健診、肝炎検査、運動講座等	-
13	地域巡回型健康増進事業	おあしす24健康おおいぞの開催、モデル事業	-
14	オリジナル健康体操事業	おおいそ骨太体操・大磯こゆるぎ体操の普及	-
15	女性特有のがん検診等推進事業	節目年齢対象のがん(乳・子宮・大腸)検診	①
16	がん検診推進事業	各種がん(胃・肺・大腸・乳・子宮・前立腺)検診	①
17	後期高齢者健診推進事業	後期高齢者健康診査	①
18	スポーツ推進委員運営事業	生涯スポーツの普及(ニュースポーツ普及、活動報告)	-
19	保健体育総務運営事務事業	スポーツ関係庶務、スポーツ教室開催、スポーツ少年団活動補助等	-
20	町体育協会育成補助事業	スポーツ振興・交流、各種町民スポーツ大会開催、かながわ駅伝大会	-
21	一周駅伝大会運営事業	第60回大磯一周駅伝大会	-
22	スポーツ健康イベント事業	大磯ビーチフェスタ、大磯チャレンジフェスタ2014	-
23	子どもスポーツチャレンジ事業	子ども水泳教室、キッズテニス教室、キッズ体操教室等	-
24	武道館維持管理事業	維持管理	-
	施設開放管理運営事業		
25	学校施設等開放事業	小中学校・民間施設の施設開放	-
26	学校プール開放事業	国府小学校プールの開放	-
27	他課との連携事業	専門職(保健師、管理栄養士)による連携	⑦

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	保健衛生総務運営事業	担当課・係名	スポーツ健康課 健康増進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	1
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要																																																				
目的 (何のために)	保健事業全般を円滑に行うため及び周知・啓発を行うため																																																			
対象 (誰を・何を)	全町民																																																			
内容	保健事業に関係する会議、研修会への職員の派遣、公用車の維持管理、町村保健衛生連絡協議会他各種団体への負担金の支出、事業の周知・啓発のための「おおいそ健康カレンダー・がん検診等案内」の作成及び全戸配布																																																			
根拠法令・条例等	母子保健法、健康増進法、がん対策基本法																																																			
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>平成24年度 (決算)</th> <th>平成25年度 (決算見込)</th> <th>平成26年度 (予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">事業費</td> <td>直接事業費 (a)</td> <td>千円</td> <td>492</td> <td>687</td> <td>783</td> </tr> <tr> <td>  国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td>153</td> <td>388</td> </tr> <tr> <td>  起債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  一般財源</td> <td>千円</td> <td>492</td> <td>534</td> <td>395</td> </tr> <tr> <td>職員人数 (概算職員数)</td> <td>人</td> <td></td> <td>0.22</td> <td>0.40</td> </tr> <tr> <td>人件費計 (b)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>1,348</td> <td>2,451</td> </tr> <tr> <td>総事業費 (a)+(b)</td> <td>千円</td> <td>492</td> <td>2,035</td> <td>3,234</td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	事業費	直接事業費 (a)	千円	492	687	783	国庫支出金	千円				県支出金	千円		153	388	起債	千円				その他	千円				一般財源	千円	492	534	395	職員人数 (概算職員数)	人		0.22	0.40	人件費計 (b)	千円		1,348	2,451	総事業費 (a)+(b)	千円	492	2,035	3,234
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)																																																
事業費	直接事業費 (a)	千円	492	687	783																																															
	国庫支出金	千円																																																		
	県支出金	千円		153	388																																															
	起債	千円																																																		
	その他	千円																																																		
	一般財源	千円	492	534	395																																															
	職員人数 (概算職員数)	人		0.22	0.40																																															
人件費計 (b)	千円		1,348	2,451																																																
総事業費 (a)+(b)	千円	492	2,035	3,234																																																
事業費内訳 H 26 年度	報酬：117千円 講師等謝金：123千円 旅費：46千円 需用費：313千円 役務費：94千円 会場使用料：30千円 各種団体への負担金：53千円 公課費：7千円																																																			

3. 指標値の推移					
各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町民 (4/1現在)	世帯数	12,582	12,641	12,787
	② 町民 (4/1現在)	世帯数	12,582	12,641	12,787
活動指標 (活動量)	① 健康カレンダー作成	部	13,000部	13,000部	13,000部
	② がん検診等案内作成	部	13,000部	13,000部	13,000部
成果指標 (達成度等)	① 健康カレンダー配布数	部	全戸・窓口配布	全戸・窓口配布	全戸・窓口配布
	② がん検診等案内配布数	部	全戸・窓口配布	全戸・窓口配布	全戸・窓口配布

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	町が実施・開催する各種保健事業の周知・啓発を行うための支出であると考える。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	町民への周知・啓発を行うために各種印刷物を作成し、全戸配布するほか、町HPなども活用しているが、他の方法・手段についても検討する必要があると考える。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	各種健(検)診や教室への参加申込みが、概ね周知した方法で行われている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	「おおいそ健康カレンダー」等は、各世代に合った各種健(検)診・教室の実施・開催などの健康情報を記載した印刷物であるので、全戸配布は妥当と考えられる。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	印刷製本費を抑えるために原稿の校正を担当で作成しているほか、インターネット等を活用して情報を収集することとした。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い(休止・廃止)	<b>評価理由</b> 概ね妥当と思われるが、保健事業の案内については、全戸配布以外の方法も併せて周知、啓発を進める必要がある。

#### 5. 改革・改善の方向性 (平成 27 年度以降)

① 改革・改善への取り組み	町民への周知・啓発を行うために携帯電話の情報発信サイトを活用するとともに、全戸配布している各種印刷物については、広告掲載希望事業者(団体)等を募り、経費削減に繋げる取組みを検討する。
② 平成27年度に着手する事項	町民への周知・啓発を行うため、携帯電話の情報発信サイト活用する。
③ その他(課題、調整事項等)	特になし。

#### 6. 平成27年度事業への取組み状況(改善内容等)

町民への保健事業の周知方法として、携帯電話のメール配信を活用し、がん検診の受付締切の日程などをリアルタイムで情報発信をすることで、受診者や事業参加の増加を図る、とともに経費節減を図る。
--

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	育児教室・相談事業	担当課・係名	スポーツ健康課 健康増進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	3
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

## 2. 事業の概要

目的 (何のために)	母子保健法に基づき、早期に良好な母子関係を成立させるとともに、ハイリスク児の早期発見を図る				
対象 (誰を・何を)	乳幼児と保護者				
内容	《母子保健法に定められている項目》 ・保健指導：妊産婦若しくはその配偶者又は乳児若しくは幼児の保護者に対して、妊娠、出産又は育児に関し、必要な保健指導を行う。（要保護児童に関する訪問指導、子育て支援が必要なケースの養育支援訪問、ケース連絡、担当者会議等を含む） ・新生児の訪問指導、未熟児の訪問指導 《その他》・育児相談 ・なかよし教室 ・離乳食づくり教室				
根拠法令・条例等					
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,663	1,465	1,363
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円			
	職員人数 (概算職員数)	人		0.77	0.71
	人件費計 (b)	千円		3,576	4,351
総事業費 (a)+(b)	千円	1,663	5,041	5,714	
事業費内訳	教室・相談講師謝金：726千円    消耗品費：58千円    印刷製本費：96千円 新生児訪問委託：483千円				
H 26 年度					

## 3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① なかよし教室 2歳児	人	292	230	200
	② 育児相談 出生数	人	185	187	180
活動指標 (活動量)	① なかよし教室	回	23	23	23
	② 育児相談	回	12	6	6
成果指標 (達成度等)	① なかよし教室のべ参加数	人	535	468	450
	② 育児相談のべ参加数	人	366	137	130

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 理由 母子保健法により市町村の専門職が乳幼児の保護者に対し妊娠、出産、育児に関する必要な保健指導を行うことを義務付けられている。新生児訪問と未熟児訪問についても同様に義務付けられている。
	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 理由 非常勤の専門職（保健師、栄養士、歯科衛生士等）を確保することにより、必要な対応ができています。要保護児童訪問指導、養育支援訪問については、継続的に行う必要もあるため、町保健師によって実施している。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 理由 年6回の育児相談に加え、子育て支援課で開催している「つどいの広場」において月2回、保健師による育児相談を実施し、気軽に相談できる場の確保ができています。
	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他 理由 雇用する専門職の役割と町職員の役割が明確化し、効率的にできています。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 理由 「なかよし教室」と乳幼児健診の発達相談を行う心理士を子育て支援課が雇用したことにより、全体のコスト削減ができた。
	担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
		評価理由 子育て支援課が雇用した心理士が母子保健分野の相談と療育相談、幼稚園保育園の巡回相談等を縦断的に対応するため、コスト削減に加え、連携がし易くなっている。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
2. 3歳児の発達・子育て支援のための『なかよし教室』の参加人数が年々増加しており、各自の参加期間等は引き続き検討を要する。また、なかよし教室や海の子山の子（療育相談）と幼稚園・保育園の巡回相談との連携についてさらに充実させる必要がある。
② 平成27年度に着手する事項
子育て支援課との連携により、事業内容を充実させる。子育て支援課子育て支援総合センターとスポーツ健康課母子保健担当の打合せを定期的に行う。発達障がい等に関する検討会に障がい福祉担当とともに母子保健担当も参画し、療育のあり方について検討する。養育支援訪問事業について、子育て支援課と協議する。
③ その他（課題、調整事項等）
特になし。

#### 6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健診未受診者の状況把握を子育て支援課と連携して実施し、ハイリスク児及び要保護児童の早期発見と支援をさらに強化する。</li> <li>・なかよし教室と子育て支援課の療育相談、就園相談等との連携をさらに強化し、発達等に不安のある児への継続した支援を行う。</li> <li>・育児相談では、町での健診の狭間であるが育児不安の多くなる時期である1歳児及び保護者に対して、案内を送付し、相談の活用を勧める。</li> <li>・子育て支援センターで実施しているつどいの広場等での育児相談と連携し、母子保健事業での相談や健診に活かしていく。</li> </ul>
--

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	医師会・歯科医師会連絡調整事業	担当課・係名	スポーツ健康課 健康増進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	5
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要																																																				
目的 (何のために)	町民の地域医療体制及び災害時医療体制の確保																																																			
対象 (誰を・何を)	中郡医師会（大磯班）、平塚歯科医師会（大磯地区）																																																			
内容	医師会・歯科医師会への交付金の交付																																																			
根拠法令・条例等	医療法、神奈川県保健医療計画、神奈川県地域医療再生計画、中郡医師会大磯班交付金交付要綱、平塚歯科医師会大磯地区交付金交付要綱																																																			
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>平成24年度 (決算)</th> <th>平成25年度 (決算見込)</th> <th>平成26年度 (予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">事業費</td> <td>直接事業費 (a)</td> <td>千円</td> <td>1,716</td> <td>1,661</td> <td>1,686</td> </tr> <tr> <td>  国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  起債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  一般財源</td> <td>千円</td> <td>1,716</td> <td>1,661</td> <td>1,686</td> </tr> <tr> <td>職員人数 (概算職員数)</td> <td>人</td> <td></td> <td>0.17</td> <td>0.33</td> </tr> <tr> <td>人件費計 (b)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>1,042</td> <td>2,022</td> </tr> <tr> <td>総事業費 (a)+(b)</td> <td>千円</td> <td>1,716</td> <td>2,703</td> <td>3,708</td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	事業費	直接事業費 (a)	千円	1,716	1,661	1,686	国庫支出金	千円				県支出金	千円				起債	千円				その他	千円				一般財源	千円	1,716	1,661	1,686	職員人数 (概算職員数)	人		0.17	0.33	人件費計 (b)	千円		1,042	2,022	総事業費 (a)+(b)	千円	1,716	2,703	3,708
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)																																																
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,716	1,661	1,686																																															
	国庫支出金	千円																																																		
	県支出金	千円																																																		
	起債	千円																																																		
	その他	千円																																																		
	一般財源	千円	1,716	1,661	1,686																																															
	職員人数 (概算職員数)	人		0.17	0.33																																															
人件費計 (b)	千円		1,042	2,022																																																
総事業費 (a)+(b)	千円	1,716	2,703	3,708																																																
事業費内訳 H 26 年度	委員謝金：52千円    傷害保険料：140千円    中郡医師会大磯班交付金：900千円 平塚歯科医師会大磯地区交付金：594千円																																																			

3. 指標値の推移					
各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 医師会班会会員数	人	23	23	23
	② 歯科医師会地区会会員数	人	13	13	13
活動指標 (活動量)	① 医師会班会	回	10	10	10
	② 歯科医師会地区会	回	1	1	1
成果指標 (達成度等)	① 医師会班会協力事業数	件	8	8	8
	② 歯科医師会地区会協力事業数	件	7	7	7

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 市町村は、医療法においても地域における良質かつ適切な医療を効率的に提供するための体制の確保に努めなければならないとされているため、地域医療を担う医師会及び歯科医師会に交付金を交付している。
	・実施手段は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 行政からの相談対応、人材育成のための研修会への参加、情報収集のための勉強会及び学会等への出席などに係る費用弁償の相当額等として支出している。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 町が実施する各種保健事業への助言、指導、協力を始めとして、地域医療に係わる検討会等への会員の派遣、災害時医療体制確保のための連携などが円滑に行われている。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他 町が実施する各種保健事業への助言、指導、協力を始めとして、地域医療に係わる検討会等への会員の派遣等に係わる医師会・歯科医師会の会員の協力日数・時間から計算すると概ね効率的と考えられる。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他 過年度においても、適宜、交付金額の見直しを行ってきている。
	担当課による評価		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
			評価理由 協力事業について量的な効率性の分析はされていないが、協力事業の数量によって交付金を決めることは困難と考えられる。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	地域医療を担う医師会・歯科医師会とともに取組むべき課題は複雑・多様化してきているため、協力事業の拡大を含め検証・検討する。
② 平成27年度に着手する事項	地域包括ケアシステムを構築する上で核の1つとなる「在宅医療」の地域での体制整備のため地域の医療・介護関係者の多職種連携の推進を図る。
③ その他（課題、調整事項等）	特になし。

#### 6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

災害時医療と在宅医療の推進について引き続き検討していく。 在宅医療の地域での推進、普及のために、関連する専門職による会議や研修会を開催する。また、在宅医療を推進するために、中郡の医師会・歯科医師会と連携し、医療資源の把握し、課題の抽出、対応策について二宮町と連携を図りながら検討する。
---

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	こころといのちのサポート事業	担当課・係名	スポーツ健康課 健康増進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	6
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成23年度

## 2. 事業の概要

目的 (何のために)	自殺予防のため				
対象 (誰を・何を)	町民、職員				
内容	こころの健康セミナー、ゲートキーパー研修会、自殺予防週間にあわせた啓発活動（町内の公共施設等）				
根拠法令・条例等	自殺対策基本法 健康増進法 大磯町健康増進計画				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	30	294	150
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	30	293	30
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円		1	120
	職員人数 (概算職員数)	人		0.20	0.12
	人件費計 (b)	千円		1,226	735
総事業費 (a)+(b)	千円	30	1,520	885	
事業費内訳	こころの健康セミナー講師謝金 30千円 啓発物品 120千円				
H 26 年度					

## 3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町民	人	32,587	32,625	32,447
	② 町民	人	32,587	32,625	32,447
活動指標 (活動量)	① こころの健康セミナー	回	1	1	1
	② ゲートキーパー養成研修	回	1	2	2
成果指標 (達成度等)	① こころの健康セミナー参加者	人	116	100	100
	② ゲートキーパー養成数	人	116	195	80



#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	自殺対策基本法、健康増進法に基づき市町村として取り組むべき事業と位置づけられている。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	県や他市町村の動向を踏まえ、自殺予防を啓発するための講演会の開催、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援に繋げることができる人材（ゲートキーパー）の養成を継続的に行っている。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	平成25年度は自殺とその原因となるうつ病の講演会を行い一般住民100名が参加した。
効率性	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	講演会や研修会の講師の講演料については、県補助金を活用したり、積極的に県職員に依頼することにより支出を抑えている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他
	理由	現在は、県補助金を活用して自殺予防対策に関する啓発物品の購入等を行っているが、継続して事業（普及・啓発）を行っていくため、町予算の効率的な活用を検討する必要がある。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 県補助金を活用し、取り組みが展開できている。自殺数の減少を目的としているが、単年度の成果確認は困難である。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	自殺予防対策の取組みや講演会の開催、ゲートキーパーの養成研修会の開催については、内容や周知方法等については専門家からの助言も含め、検討が必要と考える。
② 平成27年度に着手する事項	町立の中学3年生を対象に「いのちの授業」を展開し、助産師から生命誕生の話や赤ちゃんとのふれあいを通じて、自分やクラスメイトの命がかけがえのないものであることに気付かせる。（妊娠出産前支援事業より移行）
③ その他（課題、調整事項等）	特になし。

#### 6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

引き続き、町民を対象としたこころの健康をテーマとした講演会、ゲートキーパー研修会、自殺対策庁内連絡調整会議を実施する。 自殺対策強化月間（3月）・自殺予防週間（9月）に合わせて「自殺防止」を呼びかける横断幕、のぼり旗の設置、公用車両へのシート装着、トイレトペーパーの設置（9月のみ）等、自殺予防に係る周知啓発活動を行う。 また、新たに町立の中学3年生を対象に「いのちの授業」を展開し、がん教育などで命がかけがえのないものであることに気付かせる。
--

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	出産前支援事業	担当課・係名	スポーツ健康課 健康増進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	7
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	H23に母子保健から分離

2. 事業の概要

目的 (何のために)	妊娠中の健康についての支援と妊婦に対するやさしさや思いやりを育てる				
対象 (誰を・何を)	妊婦とその家族、町立中学校3年生全員				
内容	妊婦に対して母子健康手帳を交付するほか、妊娠中の健康づくりのため、妊婦や家族を対象に各種教室等を開催し、指導、相談を行っている。また、妊婦健康診査の実施に併せて重要性を周知するとともにマタニティマークの普及を図っている。 中学生に対しては、思春期ふれあい事業と称し、妊婦に対するやさしさや思いやり、生命の尊さを育てるために妊婦ジャケットや赤ちゃん人形のだっこなどの体験型授業を実施している。				
根拠法令・条例等	母子保健法9条～11条（妊産婦への保健指導）15条（妊娠の届出）16条（母子健康手帳の交付）				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	624	246	229
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	624	246	231
	職員人数 (概算職員数)	人		0.32	0.40
人件費計 (b)	千円		1,390	2,451	
総事業費 (a)+(b)	千円	624	1,636	2,680	
事業費内訳 H 26 年度	報償費 講師等謝金：162千円 需用費 消耗品費：17千円 印刷製本費 母子健康手帳：50千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 母子健康手帳交付数	人	219	198	200
	② 町内中学3年生生徒数	人	251	246	251
活動指標 (活動量)	① マタニティスクール実施回数	回	24	20	20
	② 思春期ふれあい体験実施回数	回	3	2	2
成果指標 (達成度等)	① マタニティスクール延べ参加者数	人	177	145	150
	② 思春期ふれあい体験参加者数 (実数)	人	251	246	251

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	母体や乳児、幼児の健康の保持、増進を図るために実施するよう母子保健法に位置づけられている。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	継続的に行う必要があるため、町保健師、町栄養士が企画している。運営は、非常勤の専門職（保健師、助産師、栄養士等）を確保することにより、必要な対応ができています。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	妊婦の家族や中学生が妊婦ジャケットや赤ちゃん人形の抱っこなどの体験をすることで「妊婦へ思いやりの気持ちをもつ」「生命を大切にする」ことを考えたり感じたりするきっかけづくりになっている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	マタニティスクールは出生数を鑑み、年間を通して3コース（春、夏、冬スタート）の集中講座として、効率的に開催している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	マタニティスクールのプログラムの見直しにより、統合、または他事業利用などを進めた。
担当課による評価		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
		<p>評価理由</p> <p>母子健康手帳交付時の面接から早期にハイリスク者（特定妊婦）も発見され、出産前からの必要な対応ができています。</p>

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	マタニティスクールの一部内容が二宮町のマタニティスクールと同じ内容であるため、二宮町の実施日に大磯町民が参加できるように開催日の拡充を検討していく。
② 平成27年度に着手する事項	近隣市町村や医療機関のマタニティスクールの内容等を把握し、開催日時や内容について検討する必要がある。
③ その他（課題、調整事項等）	特になし。

#### 6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

引き続き、母子健康手帳交付時に専門職による面接やマタニティスクールを開催することによって、妊娠中の不安の軽減とハイリスク者への適切な支援、必要に応じて関係機関との連携を図る。また、マタニティスクールの一部の内容が二宮町のマタニティスクールと同じ内容であるため、二宮町の実施日に大磯町民が参加できるように調整中。町立の中学3年生を対象に実施していた「思春期ふれあい体験」については、命の尊さを大切にした内容になっていることから、「こころといのちのサポート事業」に移行して実施する。
---

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	妊娠支援事業	担当課・係名	スポーツ健康課 健康増進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	9
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

## 2. 事業の概要

目的 (何のために)	少子化対策として子どもを望む夫婦の経済的な負担を軽減（治療費の一部を助成）して、特定不妊治療・不育治療を受け易くする				
対象 (誰を・何を)	特定不妊治療・不育治療を行う夫婦				
内容	特定不妊治療費助成 1年度当り上限 100,000円 不育症治療費助成 1年度当り上限 100,000円				
根拠法令・条例等	少子化社会対策基本法				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	957	963	1,500
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	957	963	1,500
	職員人数 (概算職員数)	人		0.15	0.20
	人件費計 (b)	千円		919	1,226
総事業費 (a)+(b)	千円	957	1,882	2,726	
事業費内訳	特定不妊治療費助成：1,300千円（1年度当り上限100,000円×13人） 不育症治療費助成：200千円（1年度当り上限100,000円×2人）				
H 26 年度					

## 3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 特定不妊治療費助成申請数	人	10	16	13
	② 不育治療費助成申請数	人	—	—	2
活動指標 (活動量)	① 特定不妊治療費助成数	人	10	16	13
	② 不育症治療費助成数	人	—	—	2
成果指標 (達成度等)	① 特定不妊治療費助成後妊娠数	人	5	5	6
	② 不育症治療費助成後出産数	人	—	—	2

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 理由 総合計画に位置づける重点プロジェクトを進めるための重点項目の1つである「子育て支援（少子化対策）」の一環として、他市町村に先行する形で進めている事業である。
	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 理由 同様の事業を行っている全国の自治体の事業内容（実施手段）を調査・検討した結果、決定している。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 理由 出生数／助成件数として 平成24年度 5人/10件 平成25年度 3人/16件 と出産に繋がっている。
	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 理由 予算の範囲内で申請者への助成を行っている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 理由 不育症については、国や県の補助事業が無い場合、補助金の創設を継続的に要望していく。
	担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
		評価理由 特定不妊治療では、3割以上が妊娠に至っており、成果を達成できていると考えられる。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	特定不妊治療は、毎年10数件の申請があり、新規申請者も約半数あることから制度が徐々に浸透してきていると思われる。引き続き、県や近隣市町村の状況を把握しながら周知活動をしていく。不育症については、近隣市町村の状況も把握しながら周知方法を検討していく。
② 平成27年度に着手する事項	特定不妊治療、不育症の助成事業の認知度を高めるため、様々な媒体を活用して周知活動を行う。
③ その他（課題、調整事項等）	特になし。

#### 6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

県が行う補助額や対象年齢等の改正に併せて事業内容の見直しを行うとともに、制度の認知度を高めるために、引き続き広報やホームページ等で周知を行う。（1月現在妊娠に至った方5人／10人中）
---

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	食育推進事業	担当課・係名	スポーツ健康課 健康増進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	10
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成20年度

## 2. 事業の概要

目的 (何のために)	町民一人ひとりが食に対する関心を持ち、心身ともに健全な食生活を送るための知識を身につけるために食育の推進を図る				
対象 (誰を・何を)	町民（乳幼児から高齢者まで）				
内容	食育推進計画に沿って調理実習を含んだ教室の開催、食に関する講座の開催、食生活改善推進員の養成及び育成等 食育推進計画の改訂版の作成及び発行				
根拠法令・条例等	食育基本法、神奈川県食育推進計画、大磯町食育推進計画				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	269	536	445
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	89	73	114
	一般財源	千円	180	463	331
	職員人数 (概算職員数)	人		0.91	0.79
	人件費計 (b)	千円		4,434	4,841
総事業費 (a)+(b)	千円	269	4,970	5,286	
事業費内訳 H 26 年度	報償費：86千円    需用費：290千円    役務費：19千円    委託料：50千円				

## 3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 前年度講座参加者数	人	386	347	347
	② 前年度講座開催数	回	33	33	31
活動指標 (活動量)	① 現年度講座参加者数	人	347	347	380
	② 現年度講座開催数	回	33	31	33
成果指標 (達成度等)	① 前年度との比較 (参加者数)	%	90	100	110
	② 前年度との比較 (開催数)	%	100	94	106

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	食育基本法において、地方公共団体は食育の推進に関し、国との連携を図りつつ、自主的な施策を策定し、及び実施する責務を有すると規定されている。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	平成26年度からスタートした「第2次大磯町食育推進計画」に則り、各種事業、教室を開催している。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	食育推進委員会を開催する中で、毎年度、計画の進行管理を行っている。なお、平成26年度からスタートした「第2次大磯町食育推進計画」、は第1次計画の結果を踏まえた計画となっている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	調理教室では、食材料費については、参加者の自己負担を求めている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	事業趣旨を伝えただけで、一部の事業を委託することにより、人件費等の削減ができています。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 食育についての関心は高まってきているので、町民の主体的な活動についても積極的に支援する仕組みづくりについても検討が始まっている。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
男性の育児参加のサポートなどをおして「共食」の普及啓発、及び保育園給食にO i s o レシピを取り入れるなどのO i s o レシピの普及を図る。
② 平成27年度に着手する事項
誰かと一緒に食事をする「共食」への関心を高め、推進していく。
③ その他（課題、調整事項等）
小中学生から応募のあった「O i s o レシピ」については、現在、広報おいそで紹介している。小学生への食育推進の観点からも”旬”の食材や地産地消も意識したレシピとなっているため、学校栄養教諭を交え学校給食のメニューへの採用について検討を行う。

#### 6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族のクッキング教室を実施し、「共食」への関心を高める。</li> <li>・妊婦対象のぶれママぶれパパクッキング教室は、男性（夫）の料理のきっかけにもなるようにイクメン料理教室と合わせて行い、男性の育児参加をサポートする。</li> <li>・地域で食に関する活躍する人（食育サポーター）を養成し、食育について発信できる町民を増やす。</li> <li>・家族に伝えたい料理教室を食生活改善推進団体に委託し、地域の繋がりを深め、食への関心を高める。</li> </ul>
--

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	成人健診・運動事業	担当課・係名	スポーツ健康課 健康増進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	12
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

## 2. 事業の概要

目的 (何のために)	歯周病予防、生活習慣病の予防、健康意識の向上、健康づくりの仲間づくり				
対象 (誰を・何を)	成人健診：成人歯科健診（年度中に40歳、50歳、60歳、70歳になる町民） 運動事業：生活習慣病の予防、健康意識の向上、仲間づくりを考えている町民（75歳以下）				
内容	成人健診：歯周病予防 運動事業：健康運動指導士による中高年対象のエクササイズ教室（1教室30名位まで/2時間/年9回）				
根拠法令・条例等					
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	796	2,565	2,706
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	218	237	220
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	725	650	607
	職員人数 (概算職員数)	人		0.26	0.41
	人件費計 (b)	千円		1,593	2,512
総事業費 (a)+(b)	千円	796	4,158	5,218	
事業費内訳	臨時雇賃金：195千円 講師等謝金：36千円 消耗品費：20千円 印刷製本費：300千円 通信運搬費：255千円 事業委託料 173千円 肝炎ウイルス検査委託料 1,234千円 成人歯科健診委託料：452千円 健康診査委託料：41千円				
H 26 年度					

## 3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 成人歯科健診対象者	人	1,996	1,892	1,900
	② 40歳以上の町民	人	20,751	20,867	21,046
活動指標 (活動量)	① 成人歯科受診者数	回	94	113	90
	② 運動講座回数	回	10	10	8
成果指標 (達成度等)	① 受診率	%	4.7	6.0	4.7
	② 参加者数	人	143	215	172



#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 理由 健康増進法及び歯科口腔保健の推進に関する法律において、健康増進事業実施者は、住民の健康の増進のために必要な事業を積極的に推進するよう努めなければならないと規定されているため。
	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 理由 成人健診については、平塚歯科医師会に、運動事業については、実績のある業者への委託事業として実施している。受診者・参加者数が伸び悩んでいる点が課題で、周知の頻度、方法などを検討の必要がある
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 理由 成人歯科健診については、希望者全員が受診できている。運動講座については、町民自身の健康づくりのきっかけ、運動習慣の獲得の機会となっている。
	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 理由 成人歯科健診については、近隣市町と同額で実施できるよう平塚歯科医師会に協力を求め、委託している。また、運動講座については、講座受講者の増員を期待し、健康づくり、体力づくりのきっかけとなるよう、既存の運動できる場の開放日程に併せて開催している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 理由 健康づくりにおける口腔ケアの大切さを周知するため、様々な媒体を活用しているが、受診者数が少ないため、コストの削減に係わる対策については検討していない。
	担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
		評価理由 健診案内をもらっても受診希望されない町民については、更なる啓発が必要であるが、健診や運動習慣が医療費の削減に繋がるものなので、成果が期待できる。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	成人歯科健診の受診率の向上、運動事業の周知方法について関係機関とともに検討する。
② 平成27年度に着手する事項	成人歯科健診の周知方法については、近隣市町の状況把握及び関係機関との意見等を踏まえた上で検討を始める。
③ その他（課題、調整事項等）	特になし。

#### 6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

・おあしす24健康おおいぞにおいて高齢者の口腔機能向上への取り組みの強化とともに、広報、歯科フェア、がん検診などの各健康増進事業において歯科健診の周知、生活習慣病と歯周疾患の関係と口腔衛生について啓発に力を入れていく。 ・運動指導事業については、会場を支所と保健センターなどで実施をすることで、新規参加者を獲得する。また、国保特定保健指導、運動ひろばなどと連携を持たせ効果的に周知・実施をする。
--

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	地域巡回型健康増進事業	担当課・係名	スポーツ健康課 健康増進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	13
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成23年度

2. 事業の概要					
目的 (何のために)	町民の健康づくりに対する関心を高め、生活習慣病の予防を始め予防医学の大切さを普及することで、自らの健康管理を積極的に行なえる町民が増えることにより医療費の削減を目指す				
対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区別開催：町内24地域に出向き、保健師、管理栄養士が健康教育・相談の実施</li> <li>・母子を対象とした健康教育・相談の実施</li> <li>・保健師・管理栄養士の訪問による健康相談の実施</li> <li>・生活習慣病重症化予防講座の実施</li> <li>・国保特定健診の結果説明会の実施</li> <li>・健康づくりに関する新聞(広報)の発行</li> </ul>				
根拠法令・条例等	健康増進法第17条、大磯町健康増進計画				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	233	442	598
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	40	125	169
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	193	317	427
	職員人数(概算職員数)	人		2.16	1.99
	人件費計 (b)	千円		11,904	12,195
総事業費 (a)+(b)	千円	233	12,346	12,793	
事業費内訳	講師等謝金 373千円     消耗品等 225千円				
H 26 年度					

3. 指標値の推移					
各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 前年度開催回数	回	163	169	184
	② 前年度参加者数	人	2,079	2,527	3,145
活動指標 (活動量)	① 現年度開催回数	回	169	184	192
	② 現年度参加者数	人	2,527	3,145	3,456
成果指標 (達成度等)	① 前年度との比較(開催数)	%	103.7	108.9	104.3
	② 前年度との比較(参加者数)	%	121.5	124.5	109.9

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 理由 総合計画に位置づける重点プロジェクトを進めるための重点項目の1つである「健康づくり」の一環として、他市町村に先行する形で進めている事業である。
	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 理由 平成23年度にスタートした「おあしす24健康おおいぞ事業」については、24年度については、前年を上回る169回の開催、延べ2,527人の参加、25年度は184回、延べ3,145人の参加と事業も拡大し、町民の健康づくりの支援が確実に始まっていることが確認できている。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 理由 健康意識の向上に必要な事業のため、継続しての参加や参加数の増加が見られる。事業を継続して取り組むことにより地域の健康課題をより具体的に捉えの新たな事業展開にもつながっている。
	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 理由 平成25年度から開始した官との連携において、26年度は特に県のモデル事業を活用し、人的支援も受けている。国保との協力事業(予算含)として実施している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 理由 官(県)との連携(モデル事業の活用)の中で、消耗品、検査委託、健康計測機器などの教材は無償で借用等の協力を得ているため効率的に事業を展開している。
	担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い(休止・廃止)
		評価理由 町民への広報、啓発を行い、事業を利用する人が増えていることで健康意識が高まることで成果を得ていると考えられる。

#### 5. 改革・改善の方向性 (平成 27 年度以降)

① 改革・改善への取り組み	町民の健康意識の向上、自己の健康管理を積極的に行なえるような町民を増やしていくための取り組みは、町民に魅力的なものとなるような運営が必須である。対象とする年代、見合った内容、方法を検討しながら、広く行っていく必要がある。
② 平成27年度に着手する事項	関連機関との連携による事業展開を継続する中で、住民の健康課題解消のため具体的な方向性を明確にしていく。(産・学・官、町民課、福祉課等)
③ その他(課題、調整事項等)	魅力的な内容となるよう、町民の声を聞き取り入れていく必要がある。また、民間なども含めた関係機関ともに取り組みするところを模索していく。

#### 6. 平成27年度事業への取り組み状況(改善内容等)

・「24地区別開催おあしす」は、参加の声かけや、開催テーマの提案など主体的に地区の方々との関わりが大きい地区ほど参加者が多く、場の盛り上がりが見られている。今後一層、地区主体へと方向づけをし、地域で健康づくりを行う団体やグループなどの力も活用し効果的・効率的に実施していく。参加者は高齢者が中心となるため、介護予防をテーマの中心におき、関係部署と情報交換を行いつつ取り組む。 ・母子、成人、高齢者と各年代ごとに、生活習慣病の予防や健康の自己管理をしていくために必要な情報を発信(おあしす新聞の発行)すると共に、「母と子のおあしす」、「健診結果説明会」、「県のモデル事業」を関連部署と連携をとり引き続き実施する。
--

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	オリジナル健康体操事業	担当課・係名	スポーツ健康課 健康増進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	14
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成11年度

## 2. 事業の概要

目的 (何のために)	生活習慣病の予防、健康意識の向上、仲間づくり				
対象 (誰を・何を)	町民に対して「おおいそ骨太体操」「大磯こゆるぎ体操」を普及啓発				
内容	町民自身が生活習慣病の予防、健康意識の向上、仲間づくりを推進するために、おおいそ骨太体操ボランティアや大磯こゆるぎ体操普及員の協力を得て、町民へ広く普及する				
根拠法令・条例等	健康増進法、大磯町健康増進計画、大磯町スポーツ推進計画				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	249	231	229
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	70	66	95
	起債	千円			
	その他	千円	179	165	134
	一般財源	千円			
	職員人数 (概算職員数)	人		0.74	0.21
	人件費計 (b)	千円		4,344	1,287
総事業費 (a)+(b)	千円	249	4,575	1,516	
事業費内訳 H 26 年度	講師等謝金：21千円 消耗品費：5千円 事業委託料：203千円				

## 3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町民	人	32,587	32,525	32,447
	②				
活動指標 (活動量)	① 骨太体操実施回数	回	404	106	110
	② こゆるぎ体操実施回数	回	300	515	530
成果指標 (達成度等)	① 延べ参加者数	人	8,469	2,457	2,500
	② 延べ参加者数	人	11,092	7,864	8,000

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	本町の健康増進計画・スポーツ推進計画に基づき、体操のボランティアや普及員が主体的に行っている。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	町民が気軽に参加できるように、町内の公民館等を会場に実施及び普及活動を行っている。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	平成25年度には、骨太体操を延べ約2,500人が、こゆるぎ体操を延べ約8,000人が体験している。
効率性	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	体操ボランティアや普及員（町民）の協力を得て、低いコストで町民に広く普及しているため効率的だと思われる。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	骨太体操ボランティアの会の活動が一部自主運営が出来ているので、町委託分と会の独自活動分を分けて委託している。
担当課による評価		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
		評価理由 健康増進計画の「みんなでつくろうみんなの健康」を推進しており、参加者数から鑑みると成果が出始めている。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	町のオリジナル体操のボランティアや普及員の養成を継続的に行い、町民への周知の拡大を図る。
② 平成27年度に着手する事項	町のオリジナル体操のボランティアや普及員と一緒に各種イベントに参加し、周知を行う。
③ その他（課題、調整事項等）	特になし。

#### 6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

オリジナル体操の普及員の養成を行っていく。また、各種イベントに積極的に参加し、町民への周知を図り、各地区でオリジナル体操が普及することで町民の健康につながることを目指す。現在のボランティアや普及員に対しても各種イベントの紹介をしていき参加を促すことで、継続への意欲を高め、町民への普及を通して心と身体の活力維持を図る。
---

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	スポーツ推進委員運営事業	担当課・係名	スポーツ健康課 スポーツ推進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	18
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要																																																				
目的 (何のために)	スポーツ推進を目的としスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導、助言を行い、さらにはスポーツ推進の企画・コーディネーターとしての役割を担う																																																			
対象 (誰を・何を)	全町民																																																			
内容	スポーツ実技の指導、スポーツ活動の促進のための組織の育成、行政機関の行うスポーツ健康事業へ協力するなどのスポーツ推進事業を行う																																																			
根拠法令・条例等	スポーツ基本法、大磯町附属機関の設置に関する条例、大磯町スポーツ推進委員に関する規則																																																			
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>平成24年度 (決算)</th> <th>平成25年度 (決算見込)</th> <th>平成26年度 (予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">事業費</td> <td>直接事業費 (a)</td> <td>千円</td> <td>897</td> <td>834</td> <td>938</td> </tr> <tr> <td>  国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  起債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  一般財源</td> <td>千円</td> <td>897</td> <td>834</td> <td>938</td> </tr> <tr> <td>職員人数 (概算職員数)</td> <td>人</td> <td></td> <td>0.28</td> <td>0.23</td> </tr> <tr> <td>人件費計 (b)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>1,716</td> <td>1,409</td> </tr> <tr> <td>総事業費 (a)+(b)</td> <td>千円</td> <td>897</td> <td>2,550</td> <td>2,347</td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	事業費	直接事業費 (a)	千円	897	834	938	国庫支出金	千円				県支出金	千円				起債	千円				その他	千円				一般財源	千円	897	834	938	職員人数 (概算職員数)	人		0.28	0.23	人件費計 (b)	千円		1,716	1,409	総事業費 (a)+(b)	千円	897	2,550	2,347
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)																																																
事業費	直接事業費 (a)	千円	897	834	938																																															
	国庫支出金	千円																																																		
	県支出金	千円																																																		
	起債	千円																																																		
	その他	千円																																																		
	一般財源	千円	897	834	938																																															
	職員人数 (概算職員数)	人		0.28	0.23																																															
人件費計 (b)	千円		1,716	1,409																																																
総事業費 (a)+(b)	千円	897	2,550	2,347																																																
事業費内訳 H 26 年度	報酬：567千円、旅費：114千円、需用費：198千円、役務費：7千円、委託料：30千円、負担金補助及び交付金：22千円																																																			

3. 指標値の推移						
各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)	
対象指標 (対象者数等)	①	スポーツ推進委員	人	21	21	21
	②					
活動指標 (活動量)	①	主催イベント数	回	2	2	3
	②					
成果指標 (達成度等)	①	主催イベント参加者数	人	156	152	160
	②	ユニカール教室参加者数	人	481	672	680

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 理由 スポーツ基本法において町のスポーツを推進する役割が明記され、町が委嘱している委員が組織されている団体であるため、妥当である。
	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 理由 町予算を一部支出しているが、協議会によって自主的に運営を行っているため、妥当である。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 理由 ユニカールが町民に普及され、平成24年度にユニカールクラブが創設し、ユニカール大会も多く町民が参加している。今後ユニカール以外のスポーツ種目やイベントにも着手し、さらなるスポーツ推進活動をしていく余地がある。
	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 理由 町に代わり協議会が自主的に活動することにより、町の予算を最小限に支出している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 理由 イベントの開催には、町内で協賛を募って運営している。
	担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
		評価理由 ユニカールは一定の事業の評価はできるが、今後各種団体との協力を強化して、運動公園も活動場所として考慮し、スポーツを推進していくべきである。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	スポーツ推進委員協議会でイベント等を主催するのではなく、町民、地域総合型地域スポーツクラブ、運動公園指定管理者など各種団体と協力や支援を行い、町全体のスポーツ活動を活発にする必要がある。
② 平成27年度に着手する事項	各種スポーツ団体と協力して開催するスポーツイベントや、各種スポーツ団体の事業を支援する。
③ その他（課題、調整事項等）	スポーツ推進委員が町民のニーズを踏まえたスポーツ行事やスポーツ活動を自主的に行い、地域のスポーツ推進のコーディネーターとしての役割を充実させる必要がある。

#### 6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

ユニカール教室等の開催により町民に普及され、平成24年度にユニカールクラブが創設に至った。ユニカール以外の町民のニーズに合ったスポーツやイベントも開催し、さらなるスポーツ推進活動を行っていく。
--

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	保健体育総務運営事務事業	担当課・係名	スポーツ健康課 スポーツ推進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	19
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要																																																				
目的 (何のために)	町民の健康づくり、社会体育活動を推進するため、関係機関との連絡調整を行うとともにスポーツ団体等への補助を行う																																																			
対象 (誰を・何を)	全町民																																																			
内容	スポーツ基本法や国や県の計画や指針に基づき策定した大磯町スポーツ推進計画を実施するため、町のスポーツ教室事業の委託及びレクリエーション協会・スポーツ少年団への支援や、町のスポーツ推進、競技力の向上及び町民のスポーツ活動の高揚のためにスポーツ表彰を行う																																																			
根拠法令・条例等	スポーツ基本法、大磯町スポーツ表彰要綱、大磯町スポーツ少年団活動事業補助金交付要綱、大磯町レクリエーション普及事業補助金交付要綱																																																			
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>平成24年度 (決算)</th> <th>平成25年度 (決算見込)</th> <th>平成26年度 (予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">事業費</td> <td>直接事業費 (a)</td> <td>千円</td> <td>481</td> <td>574</td> <td>677</td> </tr> <tr> <td>  国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  起債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  一般財源</td> <td>千円</td> <td>481</td> <td>574</td> <td>677</td> </tr> <tr> <td>職員人数 (概算職員数)</td> <td>人</td> <td></td> <td>0.40</td> <td>0.33</td> </tr> <tr> <td>人件費計 (b)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>2,451</td> <td>1,641</td> </tr> <tr> <td>総事業費 (a)+(b)</td> <td>千円</td> <td>481</td> <td>3,025</td> <td>2,318</td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	事業費	直接事業費 (a)	千円	481	574	677	国庫支出金	千円				県支出金	千円				起債	千円				その他	千円				一般財源	千円	481	574	677	職員人数 (概算職員数)	人		0.40	0.33	人件費計 (b)	千円		2,451	1,641	総事業費 (a)+(b)	千円	481	3,025	2,318
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)																																																
事業費	直接事業費 (a)	千円	481	574	677																																															
	国庫支出金	千円																																																		
	県支出金	千円																																																		
	起債	千円																																																		
	その他	千円																																																		
	一般財源	千円	481	574	677																																															
	職員人数 (概算職員数)	人		0.40	0.33																																															
人件費計 (b)	千円		2,451	1,641																																																
総事業費 (a)+(b)	千円	481	3,025	2,318																																																
事業費内訳 H 26 年度	報酬：56千円    旅費：4千円    需用費：154千円    役務費：26千円 委託料：100千円    使用料及び賃借料：224千円    負担金補助及び交付金：113千円																																																			

3. 指標値の推移					
各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)	単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)	
対象指標 (対象者数等)	① スポーツ少年団	団体	4	4	4
	②				
活動指標 (活動量)	① スポーツ少年団員数	人	187	166	170
	②				
成果指標 (達成度等)	① スポーツ少年団活動件数	回	109	111	110
	②				



#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 町が国や県との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、地域の特性に応じたスポーツ施策を策定し、実施する責務がある。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 町がスポーツ推進活動を効率的に行うため、民間団体へ教室の委託や青少年を対象とする団体への補助金を支出している。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 町民のだれもが、いつでも、どこでも、気軽にスポーツや健康づくりに取り組むことができる環境づくりを町民と協働して推進している。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 大学や民間企業の協力によるスポーツ教室の開催を事業内に効率的に取り込んでいる。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 スポーツ推進審議会運営事業の統合した。
	担当課による評価		<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
		評価理由	町民の健康づくり、社会体育活動を推進するため、事業を実施している。団体においても生涯スポーツ社会の実現のため、自主的活動を展開している。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	補助団体の自主的な事業の推進や総合型地域スポーツクラブとの連携。スポーツ少年団の加入団体の増による青少年の育成。
② 平成27年度に着手する事項	補助団体の自主的な事業の推進や総合型地域スポーツクラブとの連携。
③ その他（課題、調整事項等）	様々なニーズに応じたスポーツ教室をスポーツ関係団体や民間スポーツクラブなどと協力して推進する。

#### 6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

スポーツに対する町民の関心を高めるとともに、町のスポーツの推進、選手の士気高揚のためスポーツ表彰を行う。
--

<b>1. 評価対象事務事業</b>		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	町体育協会育成補助事業	担当課・係名	スポーツ健康課 スポーツ推進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	20
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

<b>2. 事業の概要</b>					
目的 (何のために)	町のスポーツ活動の振興と普及を図るため、スポーツ基本法において町は広く住民が自主的かつ積極的に参加できるような競技会、スポーツ教室等のスポーツ行事の実施及び奨励に基づき、大磯町体育協会と連携をとり、町のスポーツ大会の維持振興を図る				
対象 (誰を・何を)	大磯町体育協会				
内容	各種大会開催の補助金、活動に対するスポーツ振興交付金の交付、小諸市体育協会との交流事業補助金及びかながわ駅伝競走大会への選手派遣委託				
根拠法令・条例等	スポーツ基本法、大磯町体育協会各種大会事業補助金交付要綱、スポーツ振興交付金交付要綱、大磯町姉妹都市スポーツ交流事業補助金交付要綱				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	2,076	2,049	2,076
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	2,076	2,049	2,076
	職員人数 (概算職員数)	人		0.45	0.35
	人件費計 (b)	千円		2,758	1,765
総事業費 (a)+(b)	千円	2,076	4,807	3,841	
事業費内訳 H 26 年度	委託料：150千円      負担金補助及び交付金：1,926千円				

<b>3. 指標値の推移</b>					
各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町体育協会	部数	19	19	19
	②				
活動指標 (活動量)	① 大会数	大会	28	28	28
	②				
成果指標 (達成度等)	① 参加者数	人	2,322	2,289	2,400
	② 協力者数	人	788	747	800

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	スポーツ基本法のスポーツ行事の実施及び奨励に基づき実施する。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	町の競技スポーツの中心となる各種スポーツ大会の開催を推進し、町民の競技力の向上を図るため体育協会に補助をする。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	スポーツ人口の拡大やスポーツや運動の習慣化及び町民の体力向上、健康づくりに繋がっている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	体育協会との連携による町民スポーツの振興・普及は十分効率的である。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	毎年度、町予算の範囲内で活動している。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 体育協会との連携により、各種大会、各種イベントの開催は、町民の体力向上、健康づくりに繋がっている。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	スポーツ基本法に規定する「スポーツ行事の実施及び奨励」のため大磯町体育協会と連携して、町民の多様化するニーズの把握や新規競技大会の開催など検討する。
② 平成27年度に着手する事項	特になし。
③ その他（課題、調整事項等）	特になし。

#### 6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

町のスポーツの普及・振興を図るため、体育協会による競技スポーツの中心となる各種スポーツ大会の開催を推進し、町民の競技力の向上を図る。
--

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	一周駅伝大会運営事業	担当課・係名	スポーツ健康課 スポーツ推進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	21
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	1-1-9 一周駅伝大会運営事業の見直し	事業開始年度	—

2. 事業の概要																																																				
目的 (何のために)	町民の体力づくりの一環として体育活動の理解と関心を深め、町民の体力向上と健康的な生活の確立を目指し、駅伝の競技力の向上を図る																																																			
対象 (誰を・何を)	町民（中学生以上のチームで構成）																																																			
内容	平成26年度で第61回を迎える大磯一周駅伝大会（大磯運動公園スタート・ゴール）と、小学生を対象とした小学生駅伝の管理運営を行う																																																			
根拠法令・条例等	スポーツ基本法																																																			
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>平成24年度 (決算)</th> <th>平成25年度 (決算見込)</th> <th>平成26年度 (予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">事業費</td> <td>直接事業費 (a)</td> <td>千円</td> <td>537</td> <td>489</td> <td>725</td> </tr> <tr> <td>  国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  起債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  一般財源</td> <td>千円</td> <td>537</td> <td>489</td> <td>725</td> </tr> <tr> <td>職員人数 (概算職員数)</td> <td>人</td> <td></td> <td>0.30</td> <td>0.25</td> </tr> <tr> <td>人件費計 (b)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>1,838</td> <td>1,532</td> </tr> <tr> <td>総事業費 (a)+(b)</td> <td>千円</td> <td>537</td> <td>2,327</td> <td>2,257</td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	事業費	直接事業費 (a)	千円	537	489	725	国庫支出金	千円				県支出金	千円				起債	千円				その他	千円				一般財源	千円	537	489	725	職員人数 (概算職員数)	人		0.30	0.25	人件費計 (b)	千円		1,838	1,532	総事業費 (a)+(b)	千円	537	2,327	2,257
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)																																																
事業費	直接事業費 (a)	千円	537	489	725																																															
	国庫支出金	千円																																																		
	県支出金	千円																																																		
	起債	千円																																																		
	その他	千円																																																		
	一般財源	千円	537	489	725																																															
	職員人数 (概算職員数)	人		0.30	0.25																																															
人件費計 (b)	千円		1,838	1,532																																																
総事業費 (a)+(b)	千円	537	2,327	2,257																																																
事業費内訳 H 26 年度	需用費：329千円    役務費92千円    委託料76千円    使用料及び賃借料：228千円																																																			

3. 指標値の推移					
各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 参加チーム数	人	37	34	40
	②				
活動指標 (活動量)	① スタッフ数 (ボランティア)	人	162	167	170
	② スタッフ数 (職員)	人	60	60	70
成果指標 (達成度等)	① 協賛企業数	社	9	15	15
	② 参加者数	人	259	261	280

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	スポーツ基本法において、市町村は広く住民が自主的かつ積極的に参加できるようなスポーツ行事を実施するよう努めなければならないと規定されている。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	町が主催することにより円滑な運営ができていますが、事業委託を含めた役割分担を行い、町の人件費などの経費節減を図る検討が必要。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	参加チーム数も多く、年始の恒例行事として定着したイベントで町民に親しまれており、町民の体育活動の理解と関心を深めている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	最小限の予算と、ボランティアスタッフを活用しているため、おおむね効率的であるが、参加費等の受益者負担を検討する必要がある。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	イベントの開催には、町内で協賛を募って運営している。
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 町主催により円滑に実施されているが、大会スタッフの確保に理解と協力を得ながら、参加費等の受益者負担を検討する必要がある。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	運営委員会で、スタッフの負担軽減、スタッフ数の確保や、参加チームからの受益者負担について検討する。
② 平成27年度に着手する事項	町民へボランティアスタッフの募集を行う。
③ その他（課題、調整事項等）	大会運営の事業委託を検討する。

#### 6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

大磯一周駅伝の役員協力の人員確保、ボランティア募集、協賛企業の募集等の検討が必要。役員等の人材不足から、参加団体チームからの監察等のボランティアの人員の確保の検討。
--

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	スポーツ健康イベント事業	担当課・係名	スポーツ健康課 スポーツ推進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	22
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要																																														
目的 (何のために)	スポーツと健康を中心に、多種多様な内容で、幼児から高齢者まで誰もが参加できるイベントを実施し、町民のスポーツ推進及び健康増進を図る。																																													
対象 (誰を・何を)	全町民																																													
内容	多くの町民に生涯スポーツの体験と健康づくりの積極的な参加を促すため、関係団体から構成される実行委員会にてイベントを開催																																													
根拠法令・条例等	大磯町スポーツ推進計画																																													
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>平成24年度 (決算)</th> <th>平成25年度 (決算見込)</th> <th>平成26年度 (予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">事業費</td> <td>直接事業費 (a)</td> <td>千円</td> <td>1,500</td> <td>1,350</td> </tr> <tr> <td>  国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  起債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  一般財源</td> <td>千円</td> <td>1,500</td> <td>1,350</td> </tr> <tr> <td>  職員人数 (概算職員数)</td> <td>人</td> <td></td> <td>0.40</td> <td>0.35</td> </tr> <tr> <td>人件費計 (b)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>2,451</td> <td>2,145</td> </tr> <tr> <td>総事業費 (a)+(b)</td> <td>千円</td> <td>1,500</td> <td>3,801</td> <td>3,495</td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	事業費	直接事業費 (a)	千円	1,500	1,350	国庫支出金	千円			県支出金	千円			起債	千円			その他	千円			一般財源	千円	1,500	1,350	職員人数 (概算職員数)	人		0.40	0.35	人件費計 (b)	千円		2,451	2,145	総事業費 (a)+(b)	千円	1,500	3,801	3,495
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)																																										
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,500	1,350																																										
	国庫支出金	千円																																												
	県支出金	千円																																												
	起債	千円																																												
	その他	千円																																												
	一般財源	千円	1,500	1,350																																										
	職員人数 (概算職員数)	人		0.40	0.35																																									
人件費計 (b)	千円		2,451	2,145																																										
総事業費 (a)+(b)	千円	1,500	3,801	3,495																																										
事業費内訳 H 26 年度	負担金補助及び交付金：1,350千円																																													

3. 指標値の推移					
各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町民 (4/1現在の人口)	人	32,587	32,625	32,523
	②				
活動指標 (活動量)	① 参加者数	人	4,000	5,500	5,500
	②				
成果指標 (達成度等)	① 参加率	%	13.3%	16.9%	16.9%
	②				

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	実行委員会形式を取り、民間と行政が連携し、実施している。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	行政と民間と連携して実施している。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	5,500人の参加者があり、各種スポーツの体験や健康づくりへの取組のきっかけづくりが出来ている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	民間と行政が連携をとり、民間主導で開催されている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	協賛企業を募り多くの企業、団体に協賛していただいている。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 住民ニーズに合致したイベントと考えられる。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	若い世代の方にも参加してもらえようような種目等を検討する必要がある。
② 平成27年度に着手する事項	健康ゾーン、スポーツゾーンコース一連で楽しめる各種目づくり
③ その他（課題、調整事項等）	特になし。

#### 6. 平成27年度事業への取組み状況（改善内容等）

多くの町民に気軽にスポーツに取り組むことが出来るスポーツを体験する機会を提供するとともに、体力向上や健康増進に役立つ、スポーツイベントを民間主導において関係団体から構成される実行委員会にてイベントを開催する。
--

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	子どもスポーツチャレンジ事業	担当課・係名	スポーツ健康課 スポーツ推進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	23
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

## 2. 事業の概要

目的 (何のために)	幼児期や少年期にスポーツ運動に親しむ機会をより多く提供する				
対象 (誰を・何を)	町内在住・就学及び未就学の児童				
内容	大磯町営照ヶ崎プール、大磯町立国府小学校プールにおいて3日間水泳教室を実施、キッズテニス、キッズ体操教室をスポーツクラブと連携して実施				
根拠法令・条例等	スポーツ基本法				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	230	280	379
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	230	280	379
	職員人数 (概算職員数)	人		0.28	0.32
	人件費計 (b)	千円		1,716	1,580
総事業費 (a)+(b)	千円	230	1,996	1,959	
事業費内訳 H 26 年度	委託料：379千円				

## 3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 年中～小学6学年	人	2,533	2,523	2,530
	②				
活動指標 (活動量)	① 教室開催日数	日	3	7	8
	②				
成果指標 (達成度等)	① 参加人数	人	290	381	400
	②				



#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 理由 スポーツ基本法において、市町村は広く住民が自主的かつ積極的に参加できるようなスポーツ行事を実施するよう努めなければならないと規定されている。
	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 理由 スポーツクラブ等に委託することにより、安全かつ参加者にとっても楽しく教室として開催できている。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 理由 例年、多く参加者がありニーズの高い教室となっている。
	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 理由 募集の受付、広報等の周知は町で行っているが、それ以外は事業委託となっており効率的である。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 理由 安全面や指導面等なども考慮して委託事業とし、事業費用も安価で実施できた。さらには、スポーツ指導者として地域の潜在的な人材を確保し、事業展開を出来ればよりコスト削減が図られる。
	担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
		評価理由 事業委託することにより安全で内容も充実できている。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	各教室に参加する人の受益者負担額の再検証。
② 平成27年度に着手する事項	近隣市町の状況把握及び関係機関との意見等を踏まえた上で検討を始める。
③ その他（課題、調整事項等）	特になし。

#### 6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

子どもがスポーツや運動に親しむ機会を提供するため、水泳教室、テニス教室、体操教室を行う。新たに27年度よりビーチスポーツの普及を目指し、ビーチテニス教室、ビーチスポーツ教室を行います。
--

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	武道館維持管理事業	担当課・係名	スポーツ健康課 スポーツ推進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	24
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要																																																				
目的 (何のために)	武道館の維持管理及び運営 町民の武道振興																																																			
対象 (誰を・何を)	全町民																																																			
内容	武道団体の活動への支援、武道（柔道、剣道、空手道）のスポーツ教室を実施し参加者の体力向上、心身の健全な発達に寄与する																																																			
根拠法令・条例等	スポーツ基本法、大磯町立武道館条例																																																			
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>平成24年度 (決算)</th> <th>平成25年度 (決算見込)</th> <th>平成26年度 (予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">事業費</td> <td>直接事業費 (a)</td> <td>千円</td> <td>1,397</td> <td>872</td> <td>891</td> </tr> <tr> <td>  国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  起債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  一般財源</td> <td>千円</td> <td>1,397</td> <td>872</td> <td>891</td> </tr> <tr> <td>職員人数 (概算職員数)</td> <td>人</td> <td></td> <td>0.32</td> <td>0.52</td> </tr> <tr> <td>人件費計 (b)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>1,961</td> <td>2,044</td> </tr> <tr> <td>総事業費 (a)+(b)</td> <td>千円</td> <td>1,397</td> <td>2,833</td> <td>2,935</td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	事業費	直接事業費 (a)	千円	1,397	872	891	国庫支出金	千円				県支出金	千円				起債	千円				その他	千円				一般財源	千円	1,397	872	891	職員人数 (概算職員数)	人		0.32	0.52	人件費計 (b)	千円		1,961	2,044	総事業費 (a)+(b)	千円	1,397	2,833	2,935
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)																																																
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,397	872	891																																															
	国庫支出金	千円																																																		
	県支出金	千円																																																		
	起債	千円																																																		
	その他	千円																																																		
	一般財源	千円	1,397	872	891																																															
	職員人数 (概算職員数)	人		0.32	0.52																																															
人件費計 (b)	千円		1,961	2,044																																																
総事業費 (a)+(b)	千円	1,397	2,833	2,935																																																
事業費内訳 H 26 年度	需用費：61千円    委託料：830千円																																																			

3. 指標値の推移					
各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 利用登録団体	件	35	30	32
	② 利用可能件数	件	1,456	1,452	1,450
活動指標 (活動量)	① 利用件数	件	1,050	1,098	1,100
	②				
成果指標 (達成度等)	① 稼働率	%	72.1	75.6	75.9
	②				

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	武道教室の指導者は、以前から体育協会に所属している方を迎え、現在まで多くの町民を指導している実績がある。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	指導者が所属する団体の指導内容は子供から大人まで広く指導することができ、参加者への指導方法についても精通しているため、武道教室を継続して行うことに適している。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	年々利用団体が増加していることから費用に見合う実績は上がっており、町民に対する武道の振興として有効な施設である。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	専門性を持ち、適切な指導を行うことの出来る武道団体に委託することにより、効率よく武道の普及が行われている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	図られていない。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> スポーツ教室も継続して行われており、武道団体利用者も多い事から、武道の推進に努めることが出来ていると考える。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
使用申請の方法は、使用承認申請を提出する方法で管理しているが、神奈川県公共施設利用予約システムの導入について検討を行う。
② 平成27年度に着手する事項
神奈川県公共施設利用予約システムの導入の検討
③ その他（課題、調整事項等）
特になし。

#### 6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

今後もスポーツ教室も継続して行ない、武道団体利用者も多く、武道の推進に努めていく。
---

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	学校施設等開放事業	担当課・係名	スポーツ健康課 スポーツ推進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	25
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	1-2-13 : 施設使用料の見直し【関連事業】	事業開始年度	—

## 2. 事業の概要

目的 (何のために)	学校施設を学校教育に支障のない範囲で広く町民へ開放し、町民のスポーツ推進及び健康増進、体力向上を図る				
対象 (誰を・何を)	町立小・中学校のグラウンド及び体育館、大磯中学校の夜間照明施設を利用する団体				
内容	町立小・中学校のグラウンド及び体育館、大磯中学校の夜間照明施設を町民へ開放するための管理運営を行う				
根拠法令・条例等	学校教育法、スポーツ基本法、大磯町スポーツ推進計画、大磯町公立学校使用条例及び施行規則、大磯町立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則、大磯町立学校屋外運動場夜間照明施設使用条例及び施行規則				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	339	584	471
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	339	584	471
	職員人数 (概算職員数)	人		0.45	0.52
	人件費計 (b)	千円		2,758	2,044
総事業費 (a)+(b)	千円	339	3,342	2,515	
事業費内訳 H 26 年度	需用費：126千円      委託料：345千円				

## 3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町民 (4/1現在の人口)	人	32,587	32,625	32,523
	② 利用可能件数	件	2,810	3,279	3,200
活動指標 (活動量)	① 利用件数 (グラウンド・体育館)	件	1,722	1,920	1,900
	②				
成果指標 (達成度等)	① 稼働率 (グラウンド・体育館)	%	61.3%	58.6%	59.4%
	②				

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 町の施設であり、実施主体として妥当
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 公共施設利用予約システムの導入や一部事業委託するなど実施方法は、妥当と思われる。ただし、システム運用方法については、検討が必要である。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 町で管理しているスポーツ施設も少なく、小中学校体育施設の開放により身近な場所で気軽にスポーツ活動の場を提供できている。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 予約システムの導入により、効率的に事務処理が可能となった。また、夜間照明の管理はシルバー人材センターに委託することで効率的に行っている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 施設予約システムも県内自治体が参加する共同システムを利用しており、これ以上のコスト削減を図る余地はない。
	担当課による評価		<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
			評価理由 公共施設利用予約システム導入により事務処理の軽減が図られているが、現状の管理体制では、管理責任の観点から見直しの検討が必要

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	グラウンド・体育館の使用料徴収の検討や民間施設の活用を検討する。
② 平成27年度に着手する事項	神奈川県公共施設利用予約システムについて、各小・中学校での運用状況を調査して、問題点・改善点等を明確にする。
③ その他（課題、調整事項等）	特になし。

#### 6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

いつでも誰でも気軽に楽しめる生涯スポーツを推進するためにも、日常生活圏におけるスポーツ施設の確保は必要であり、学校施設の開放については、今後も積極的に促進し、スポーツの推進を図っていきたいと考える。管理人不在の為、事故時の対応の連絡体制の強化の検討が必要。また、学校施設使用団体への使用についての注意の再確認のための説明会を開催する。
---

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	学校プール開放事業	担当課・係名	スポーツ健康課 スポーツ推進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	26
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

## 2. 事業の概要

目的 (何のために)	学校プールを夏休み期間中で広く町民へ開放し、より地域に開かれた施設としての有効活用の促進				
対象 (誰を・何を)	大磯町民				
内容	町立小学校の学校プールを町民へ開放するための管理運営を行う				
根拠法令・条例等	学校教育法、スポーツ基本法、大磯町スポーツ推進計画、大磯町公立学校使用条例及び施行規則、大磯町立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	3,859	3,250	3,348
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	3,859	3,250	3,348
	職員人数 (概算職員数)	人		0.40	0.43
	人件費計 (b)	千円		2,451	2,254
総事業費 (a)+(b)	千円	3,859	5,701	5,602	
事業費内訳 H 26 年度	需用費：179千円      役務費：169千円      委託料：3,000千円				

## 3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町民 (4/1現在の人口)	人	32,587	32,625	32,523
	②				
活動指標 (活動量)	① プール開設日数	日	41	40	43
	②				
成果指標 (達成度等)	① 入場者数	人	4,077	3,775	4,000
	②				

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当	<input type="checkbox"/> 変更の必要あり	<input type="checkbox"/> その他
	理由	町の施設であり、実施主体として妥当			
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当	<input type="checkbox"/> 改善の必要あり	<input type="checkbox"/> その他
	理由	小学校が夏休み期間中での開放実施やプール監視委託するなど実施方法は、妥当と思われる。			
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている	<input type="checkbox"/> 得られていない	<input type="checkbox"/> その他
	理由	利用者は主に小学校の生徒及びその保護者であり有効に活用されている。			
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的	<input type="checkbox"/> 非効率	<input type="checkbox"/> その他
	理由	費用のほとんどが監視業務委託となっている。			
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った	<input type="checkbox"/> 図られていない	<input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い	<input type="checkbox"/> その他
	理由	利用者の安全確保を第一に考え、監視業務を専門的なノウハウを持つ業者に委託している。			
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）			評価理由
	<input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要				学校プールの一般開放は地域住民からのニーズが高く、平成24年度より始まっている事業であり、町民に水泳できる環境を提供している。しかし、近年入場者数が伸び悩んでいる。
<input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要					
<input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）					

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	町民への水泳の機会の提供、健康増進に寄与することを目指す。
② 平成27年度に着手する事項	利用状況を調査して、問題点・改善点等を明確にする。
③ その他（課題、調整事項等）	特になし。

#### 6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

<p>今後、入場者数の推移を見据えて、プール開放の方向性（開放実施期間等）の検討が必要。学校プールを使用した新たな事業として子ども水泳教室のほかに小学生水泳大会（記録会）を実施する。</p>
---